

- 町外避難者への支援は
- 生活しやすい交通環境づくりは
- 町産品活用の商品開発を
- 日本型直接支払制度の組織づくり
- 駅前交通安全は確保されたのか

古川文雄議員



- 財政健全化への活路はあるか
- 少子化克服のビジョンは
- 医療介護の対策と対応はどうか

畑 幸一議員



質問 財政の健全化について、新たな財源の確保や各種施策の取組みをどのようにして活路を見出すのか。そしてどう発展させてゆくののか。

総務課長

健全化に向けた取組みとしては、自主財源の確保と経常経費の削減を図ることが重要だと考えている。自主財源確保については受益者負担の原則に基づき負担金、分担金、使用料の適切な負担を求めたい。また、経常経費削減については、繰上償還等により公債費の圧縮と事務事業の見直しを進める。事業についても財源が確保できるものを優先したい。

質問

財源を確保し、財政再建のため大胆な見直しを図ってほしいが、財政力について現在どうなっているか。基金総額はいくらなのか。

総務課長

基金総額は30億7千万円で、財政力指数は0.52と類似

質問

自主避難している町民に対して、どういった調査を行い、どんな要望があり、それに対して、どのような対応をしたのか。

総務課長

毎月、町の広報紙を送付し、町関係の行事やお知らせ等について周知している。特に状況に変わったことがないか等の呼びかけをしているが、これまで返事は無い。今後も、同様に努める。

質問

より生活しやすい交通環境整備について、どんな検討が行われ、今後どういう方向性で進むのか。

総務課長

デマンド交通の導入にあたっては、利用者の細やかな要求に対応することが困難であり、初期投資や毎年の費用負担等があるため、現状での導入は難しいと考えている。

質問

町産品を素材としての新たな

団体では平均的な数値となっている。

質問

少子化問題は全国的なものであるが、本県においても20代、30代の女性は2040年には半減してしまうと言われている。町としての少子化問題に対する取組みはどのようなか。

町長

安心して子を産める社会の実現が大切だと考える。国の子育て三法に基づく関係条例を提出したが、今後しっかりと取組みたい。認定こども園も民間で二つできた。子育て支援いわゆる産み育てやすい、



財政健全化は自治体の責務



町の特産品から商品開発を

な『産品』商品創造に対する研究の進展具合は、どうなっているか。

産業課長

町の特産品である果物などを活用した商品を開発し、新たなビジネスに繋げていくことは、農家の所得向上にも役立つ手法であると考えている。過去に関係団体が手掛けた商品があるが、販売の継続には至っていない。町内から新商品を継続して発売できるシステム、またPR等支援し続けるトータルな仕組みが必要だと考えている。

質問

商品開発のきっかけづくりとして、スイーツコンテスト等を実施している自治体もある。一般の主婦や岩瀬農業高



少子化問題への取り組みを

そういった環境づくりに努めたい。

質問

医療と介護について、痛みの伴う改革が行われます。介護サービスから軽度の要支援は除かれ、特老ホームの入所は厳しくなる。これらには、どのように対処していくのか。

健康福祉課長

2025年には団塊の世代が75歳に到達し、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上になると言われている。医療と介護の関係法令は高齢化社会における介護等が必要なる方に対応するための法律であることを理解してほしい。

校と一緒に共同開発できる環境づくりを進めてはどうか。

産業課長

商品開発は常に行われている。日頃の経済状況が絶えず進むような支援を行っていくことが重要だと考えている。そうした仕組み、体制づくりを具現化させたい。

質問

日本型直接支払制度の交付金の受入等、地域が果たす役割があると思うが、それをを行う地域の組織づくりを今後、どういった流れで行うのか。

産業課長

平成27年度からの制度で農地の維持、資源の質的向上を推進する上で、交付単価の増加等の充実が図られる。この制度を各地域で活用出来るように支援したいと考えている。各農業関係団体等に本制度を説明したところ、実施に前向きな地区があるので、組織立ち上げを支援する。

質問

駅前における通勤・通学の

町としては医療と介護の連携を強化して効果的なサービスの提供を目指したい。

質問

65歳以上の医療費自己負担引き上げ、引き上げ対象が年収で280万円や夫婦世帯で2人の合計収入が346万円未満であれば負担は1割等細かい事になっているが、詳細はどうか。

健康福祉課長

年金収入が280万円以上は2割に、その利用上限を3万円から4万円に引き上げるということである。また、資産が一定資産ある場合は補足給付が受けられないといった内容となっている。



みんなが安心して暮らせる町づくりを

ピーク時は大変混雑し、二重駐車等で安全が確保されていない。そうした状況を町当局は把握し、具体的な対策を検討しているのか。

総務課長

朝夕の通勤・通学時の送迎に車が大変混雑し、町道にはみ出し駐車している状況は認識しており、このような状態の解消を図ることは重要と考えている。駅前駐車場は1時間まで無料なので、混雑時の利活用について広報紙やホームページ等で周知したい。また、駅前についても、整備計画の中に対策等を位置づけたい。



駅送迎には町の駐車場利用を